



指扇中だより



西区の花 アジサイ

= 自信と誇りに満ちた指中生 =

〒331-0078 さいたま市西区西大宮 3-31-1 電話 048(624)6234 FAX048(624)2479

『知足(ちそく)』

校長 あおき ひろし
青木 洋

いよいよ来週から7月になり、あと15回登校すると令和初の夏季休業日(7/20～8/26)となります。本当に時のたつのは早く、1学期のまとめの時期となりました。この1学期も指中生は、頑張ってくれました。6月1日(土)～の『さいたま市中学校総合体育大会』では、赤学年の3年生を中心に素晴らしい試合を行ってくれました。どんなに点差があっても、あきらめずに最後まで食らいつく姿勢は見事でした。いろいろな部活動で、試合終了の合図まであきらめずに奇跡的な逆転劇が数多く見受けられました。その姿に応援している保護者の皆さんそして私、教頭先生、顧問の先生は、本当にびっくりし感動しました。

私は、たくさんの部活動が勝ち進んだので、多くの試合を見ることができました。そんな中、ある会場で、孫を応援する祖母の方と出会いました。「校長先生、応援ありがとうございます。四つ葉のクローバーを見つけたので、校長先生に差し上げます。それをもって、他の部活動へも応援してあげてくださいね。」と優しい笑顔で四つ葉のクローバーを差し出してくれました。私は、胸が熱くなりうれしく思いました。

また、6月は『いじめ撲滅強化月間』です。11日の生徒会集会において、校長講話では、「いいところを見つめよう」という話をしました。積極的に人や物事の「いいところ」に目を向けるように努めることで、私たちの心は明るく穏やかになり、自分や相手の持ち味をよりよく伸ばして、円満な人間関係を広げていく手がかりが得られるのではないのでしょうか。優しい心をもって、相手を思いやり、指扇中学校からいじめをなくしていきましょう。

6月21～23日まで、3年生と一緒に修学旅行に行ってきました。集団生活で大切な時間を守り、健康管理を行い、安心・安全な修学旅行ができました。実行委員を中心に『飛躍』を目指してチームREDの力を示してくれました。この『飛躍』を今後の中学校生活に役立て自らの進路選択という大切な時期へとつなげていきましょう。

結びとして、題名となっている『知足』について話していきましょう。私は、修学旅行の2日目の午前中に、15個の石で有名な「石庭」のある龍安寺に出かけました。午前中の早い時間だったので、「石庭」には人があまりいなくて、ゆっくりと「石庭」を見て自分と向き合いながら家族のこと、今後の人生のこと、そして指扇中のことを考える時間が持てました。確かに、廊下を歩きながら見ると、必ず大きな石が小さな石を隠すので見えなくなります。その石庭の裏に龍安寺のもう一つの名物、蹲踞(つくばい)があります。蹲踞は、茶室の前に置かれ、茶室に入る前にここで手を清めるためのものです。龍安寺の蹲踞は、中央の水留めの周りに文字が書かれています。それらはすべて、中央の水留めを「口」の字に見立てて、吾唯足知(われただたるをしる)と読みます。今の自分に満足し、全ての恵みに感謝せよ、という禅の教えです。知足とは、足る事を知る人は不平不満が無く、心豊かであることが出来る。石庭の石についても「一度に14個しか見ることが出来なくとも、不満に思わず



その状況を素直に受け止めて満足する心を大切にしてください」という戒めでもあると言われていたそうです。指中生の皆さん、今の自分には、まだ足りないところがあることを素直に認め反省し夢に向かって頑張っていく気持ちを持ち続けましょう。

